





令和5年の年頭にあたり

新得町農業協同組合

代表理事組合長 太田 真弘

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様をはじめご家族の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆様には日頃よりJA新得町の事業運営に対しまして、深いご理解とご支援を賜り厚く感謝とお札を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、天候は1年を通じて気温は高く経過し、6月下旬、8月上、中旬には大雨に見舞われ、一部の圃場では湿害が発生する等の被害がありました。

秋頃には天候も回復し、収穫作業は総じて順調に終えることが出来ました。作柄についても湿害等の影響があつた小麦、てん菜、飼料用トウモロコシ等は平年を下回りましたが、その他作物は平年作を確保することができました。昨年は1年を通じて雨が多い等苦労の多い中で、大きな農作業事故もなくこのような成績で終えられたことは生産者皆様の日頃の努力によるものと心より感謝しております。

昨年は世界が大きく動いた年がありました。新型コロナウイルス感染症の感染が収まらない最中、2月に突然ロシアがウクライナに侵攻すると言う衝撃的な出来事に端を発し、エネルギー資源、食糧等が世界的に不足し、国内では

為替相場の円安が重なり、輸入に大きく依存している燃料等様々な製品が異常な高騰となりました。

こうした状況は輸入原料の依存度の高い農業にとって肥料、飼料、燃油等の生産資材の価格は大幅な値上げとなり、危機的な状況となりました。

こうした現状の中で北海道農業は、長引く新型冠状ウイルス感染症による影響や少子高齢化社会等が国内消費の萎縮を招き、基幹作物である米・砂糖・牛乳乳製品がこれまでにない在庫を抱え大変厳しい状況となつております。

國の方針として米、てん菜は大豆やばれしょ、飼料作物等への転作を奨励しています。また牛乳乳製品は生産者自ら需給対策の為に資金を拠出して北海道の生乳生産目標数量の確保を目指してきましたが、生産資材等の高騰、初生牛価格の暴落が経営を圧迫する中、危機回避のために乳価引き上げを目指した減産対策を取る選択をしました。

こうした厳しい農業情勢に対し、私たちJAグループ北海道は昨年の春から国に対して支援対策を強く要請してきました。その結果として国の予備費、自治体への臨時交付金、2次補正等の予算化により肥料、飼料高騰対策や農畜産

物の在庫対策が措置されました。

今後も引き続き「食料安全保障」の在り方を通じて農業経営基盤の安定に向けての運動を続けて行きたいと思います。

新得町内では早くからコントラクター、TRMセンター事業の展開や育成牧場の機能強化を図つて参りましたが、生産者の高齢化に伴う後継者不足や戸数減少、恒常的な労働力不足により、こうしたアウトソーシング組織の見直し強化が強く求められております。

また農地利用の将来像を描く「人、農地プラン」は市町村が策定すべき「地域計画」として法定化されました。これは地域農業の将来像を生産者・農協・農業委員会で協議し、農地の効率的な利用計画を立て取り進めるという仕組みになります。今年はこの地域計画の策定を基本に生産者の経営基盤確立の為に有効な農地の活用とそれに必要な組織の見直しを協議するスタートの年としたいと思いますので皆様のご理解・ご協力を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

結びにあたり、組合員とご家族皆様の益々のご健勝と本年が豊穰の年となることを願い、さらなる飛躍の年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、年頭の挨拶と致します。



令和5年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事長 小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ地域によつて少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移しておりました。ただ、6月の降雹、8月の記録的な大雨、9月の台風により、一部地域、作物によつては、生育に大きな影響が出たものがありましたが、収穫作業は総じて順調に進み、天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や激しい円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしつかりとその対応を図つて参ります。

コロナ禍、国際紛争によつて、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的なかつて人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

J A グループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

今年は、第30回JA北海道大会の実践2年度目となります。

決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、JAグループが提唱する、自国の国民が消費する食料はできるだけ自國で生産するという「国消国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望れます。

このためには、組合員・消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となつてしっかりと取り組んで参りましょう。

結びになりますが、本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、

「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。この謂われにあやかり、本年が豊穣の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



新得町農業協同組合 青年部

部長 平一真

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆さまをはじめ、JA職員や各関連団体の皆さまには日頃より青年部活動に対しても大なるご支援ご協力を頂いております事に青年部を代表して深く感謝申し上げます。

ここ最近の農業情勢は世界的に起きているコロナ禍からの経済回復や新興国の経済発展による資材需要の増大、アメリカの利上げによるドル高、ロシアウクライナ情勢など外的要因によるコスト高が我々農家の経営を圧迫しています。さらにコロナウイルス感染拡大によって抑制された経済活動の影響で米や生乳をはじめとした農畜産物需要の減退は回復の兆しが見えず、今後の営農継続を危惧する声が各地で多く聞かれます。これは農家個人の責任ではなく、経営努力やJAの取り組みだけではどうにもならない局面にきています。政府が対応すべき有事だと考えます。

このような状況の中、日本の食糧生産を担う私たち生産者は先頭をきつて政府に対し現行の農業政策の見直しや食糧安全保障の強化に向

けた対策を求めていく必要だと思います。そして消費者にも農業に対する理解を深めてもらい、この危機に対して一緒に声を上げてくれるサポートづくりへの取り組みがより必要になってくると思います。われわれ青年部はそうしたサポートづくりの核である食農教育事業を長年行っています。教育現場の協力のもと、未来の日本を担う子どもたちに「食と農の大切さ」を伝え、自分たちが大人になつたときに次世代に伝えてもらう。そんな繋がりを目指して活動を行つています。

特に力を入れている学校給食プロジェクト「Sランチ」は今年で6年目となりコロナ禍でも各関係組織の協力により実施してきました。昨年11月に3年ぶりに実開催された十勝大会では活動実績発表においてこの「Sランチ」の取り組みが高く評価され我々JA新得町青年部の発表が見事最優秀賞に輝きました。また、12月に開催された北海道大会においても副部長百瀬雄二さんが素晴らしい発表を見せ最優秀賞に選ばれました。これにより1月18、19日に青森県

で開催される東北・北海道ブロック大会に北海道代表として参加してきます。我々青年部の取り組みが模範となり広く知られていく、日本各地で「食農教育」がさらに充実していくことを願っています。

大会に向けて発表者の百瀬さんを中心により良い活動実績発表ができるように引き続き取り組んでまいりますので応援よろしくお願ひいたします。



今 出来る事

新得町農業協同組合 女性部

部長 平

かよ子

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに、新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

女性部員の皆様をはじめ、組合員の皆様、関係機関の皆様、そして私達をさまざまな形で支えてくれています農協職員の皆様には、日頃より女性部活動にご協力ご支援を頂き誠にありがとうございます。

昨年を振り返りますと、気候変動といわれているなか、8月に新得町は雨が1時間に35・5mmも降り、過去10年間の記録を更新したとありました。天候が不安定で7月は、日照不足となり小麦時期だけ天候に恵まれなんとか収穫する事が出来ました。

酪農も昨年からコロナの影響により牛乳の消費が減少し大変な毎日が続いています。

12月の十勝毎日新聞に大きく酪農『八方ふさがり』と書いてあり、餌の高騰、肥料の高騰、資材の高騰、本当に大変で不安をのこす年となりました。生産者が頑張つてもなかなかむくわれない日々が続いています。

これから農業を取り巻く情勢は一層きびしさを増し、かつてない深刻な事態がおとずれます。こうした情勢をふまえて揺れ動く農業を女性の手でしっかりと支え、家庭を守り農業を守り、明るく楽しい毎日を送れるよう頑張りたいものです。

私達女性部もコロナ禍で出来る研修も限られ

なかなか思うような行動は出来ませんでしたが、少しずつ活動出来るよう考へ6月に役場の担当者に説明をうけながら駅前迄歩き、その後駅前周辺再整備について事務所で聞きました。

11月道の女性部70周年記念と家の光大会があり

12月7、8日に十勝女性協の研修会でSDGs、防災、十勝の気候の話など勉強し全国のフレミズさんが作製したSDGsカルタを楽しく行いました。12月14日には、スマホ教室を開き参加した人はいろいろな事を学び勉強になり時間がたりなく、この次もという声が出て、第2回目も行う事になりました。お昼は、新得町内に新しくできたエスウーノで、おしゃれな雰囲

気で食事をしました。

12月20日はJA厚生連帯広厚生病院講師のW E B開催の家庭介護教室を学び活動しています。少ない人数で楽しみながら研修出来るよう努力しています。SDGs運動でマイボトル運動も新得だけではなく十勝でもはじまっています。「私達の出来ることを考え行動する」をモットーに活動しています。

最後に本年も皆様にとりまして健康で、希望に満ちた良い年となりますように心よりご祈念申し上げ新年の挨拶とさせて頂きます。

2023

謹んで新年のお慶びを申し上げます



代表理事組合長

専務理事

常務理事

理
事

新得町酪農振興会	新得町乳牛検定組合	組合長
新得町馬事振興会	新得町馬事振興会	会長
新得町肉牛振興会	新得町肉牛振興会	会長
新得町和牛改良組合	新得町和牛改良組合	組合長
新得町畑作振興会	新得町畑作振興会	会長
新得町蔬菜生産振興会	新得町蔬菜生産振興会	会長
新得町種子馬鈴薯生産組合	新得町種子馬鈴薯生産組合	組合長
新得町農協青年部	新得町農協青年部	部長
新得町農協女性部	新得町農協女性部	部長
フレッシュよつ葉会	フレッシュよつ葉会	会長

他職員一同

太田 湯浅 恵次
五十嵐良和 野澤 幸義
伊藤 健悟 齋藤 清
武藤 幸太 藤田 孝良
千田 弘樹 藤岡 祐也
須甲 徹 山田 保彦
藤岡 高野 淳
友定 雄平
長野 功
小里 雅毅
千葉 典弘
千田 弘樹
藤田 孝良
平 かよ子
村田 倫子

青年部実績発表 北海道・東北ブロック大会へ!!



応援よろしくお願ひいたします



青年部、活動実績発表で東北・北海道ブロック大会へ！！



活動実績発表とは、全国の農協青年部が数年間の活動を発表する取り組みです。各地区的農協青年部で発表、数年ごとの回り持ちで行われます。今年度は新得農協青年部（平一真部長）の順番であり、11月25日ホテル日航ノースランで開催された、第47回JA十勝青年部大会にて発表を行いました。発表内容は、6年に渡って青年部が行っている食育事業である学校給食「のりランチ」、発表者は副部長の百瀬雄一さん（共働き）。堂々とした発表で十勝地区での最優秀賞を受賞しました。

十勝代表として挑んだ第71回全道JA青年部大会（12月8～9日札幌パークホテルにて開催）でも、道内各地区的代表を抑えて最優秀賞を受賞しました。令和5年1月18～19日に青森県弘前市で開催される北海道・東北地区青年部大会に、北海道代表として参加します。青年部の取り組みの目玉である、学校給食「のりランチ」についてより多くの人に知つてもらうチャンスです。全国大会を目指して頑張る百瀬さんをはじめとした青年部の応援を、どうぞよろしくお願いいたします。

十勝地区フレミズ交流会



11月24日に芽室駅前プラザ「めむろーど」にて、令和4年度十勝地区フレミズ交流会が開催されました。当日は、十勝管内の8農協による特産品や加工品の紹介と、実際に物を見ることができるPRブースが設置されました。SDGsの一環でもある地産地消の取り組みのひとつとして、地元十勝の特産品・加工品を知ることを目的として行われました。各ブースでの交流も多く生まれ、参加者の他の農協が生産している特産品、加工品への関心が深まったように思います。

また、交流会の最後には各農協の特産品が当たる抽選会も行われ、とても充実した会となりました。

廃プラスチック・農薬空容器回収



11月10日に、令和4年度2回目の農業用廃プラスチックの回収を行いました。今回は1日での回収を試みましたが、いかがだったでしょうか。ご意見・ご要望等あれば聞かせていただきたいです。また、一週間後の11月18日には、農薬空容器の回収を行いました。

これらの取り組みは、資源有効活用のためのリサイクル処理推進・産業廃棄物の適正処理を目的としています。今後も、産業廃棄物の適正処理にご協力お願い申し上げます。

今年度実績（廃プラ）

	戸 数	排出量 [t]
6月	54	55.4
11月	46	37.6

地 域 懇 談 会



令和4年度 農業経営と農協事業を語る地域懇談会が12月12日、新得農協畜産部2階集会室にて、午前・午後に会場を分けて開催いたしました。11月30日時点での農協主要実績を中心として、各部門の事業や状況について全8件の案件で行われました。出席者数は35名と多数の組合員の皆様にご出席いただきました。様々な意見を頂戴致しましたこと、深く感謝申し上げます。

J A 十 勝 地 区 女 性 協 議 会



12月7～8日にかけて、十勝幕別温泉グランヴィリオホテルにて令和4年度JA十勝地区女性協議会研修会が開催されました。久しぶりの宿泊を伴う研修会で、参加者は再会や出会いを喜びあつていきました。研修会では、農業に求められるSDGsや環境問題、最近の気象傾向についてのお話を講師の方々にしていただきました。さらに、全国のフレッシュユミズ会員の方が作成したSDGsかるたを使っての交流もを行い、楽しみながらSDGsへの理解が深まったのではないでしょうか。



新 穀 感 謝 祭



新穀感謝祭は本来、新嘗祭と呼ばれる宮中の祭事です。その内容としては、天皇陛下が天照大神をはじめ八百万の神々にその年の新米をすすめ、めぐみに感謝し、自らも一緒にお召し上がりになる、というものです。新得神社にも天照大神がお祀りされています。

11月25日、新得神社にて新穀感謝祭が執り行われました。新得農協役職員と関係団体が出席し、飯田宮司のもと令和4年の収穫に感謝すると共に、令和5年の豊穫をお祈りしました。

理事会の動き



第10回 令和4年12月26日開催

報告事項

- 第1 出資脱退申込者について
- 第2 令和4年度第3四半期主要勘定及び損益対比について
- 第3 余裕金の運用状況について
- 第4 内部監査の結果及びみのり監査法人監査結果について
- 第5 令和4年度第3四半期自己監査の結果について
- 第6 農産物売買に係る利益相反取引の報告について
- 第7 令和4年度 主要農産物集荷実績について
- 第8 令和3年産共計品目（小麦・大豆・澣原馬鈴しょ）本精算支払実績について
- 第9 令和4年産人参本精算について
- 第10 令和4年産加工馬鈴しょ本精算について
- 第11 11月末畜産物取扱実績について
- 第12 令和4年度 株新得営農サポート事業実績について
- 第13 その他

協議事項

- 第1号 出資譲渡（受）申込者について
- 第2号 出資減口申込者について
- 第3号 規程類の改正について
- 第4号 農業経営と農協事業を語る地域懇談会意見集約について
- 第5号 令和4年度の理事に対する組勘供給限度額の変更について
- 第6号 リスク評価書及び総括表の改正について
- 第7号 令和5年度特定組合員営農計画について
- 第8号 その他

第9回 令和4年11月30日開催

報告事項

- 第1 出資加入・脱退申込者について
- 第2 内部監査の結果について
- 第3 令和4年度特定組合員12月末見込協議結果について
- 第4 令和4年度主要農産物集荷実績について
- 第5 令和4年産共計品目（小麦・澣原馬鈴しょ）概算払等支払実績について
- 第6 令和4年産貰取品（豆類）支払実績について
- 第7 10月末畜産物取扱実績について
- 第8 購買品目情勢について
- 第9 その他

協議事項

- 第1号 職員の年末手当支給について
- 第2号 農業経営と農協事業を語る地域懇談会の開催について
- 第3号 規程類の改正について
- 第4号 令和4年度の理事に対する利益相反取引について
- 第5号 令和4年度の理事に対する組勘供給限度額の変更について
- 第6号 令和5年度特定組合員営農計画内容協議日程について
- 第7号 令和4年産共計大豆概算金について
- 第8号 令和4年度北海道酪農体质強化対策費（4月～9月）の支払いについて
- 第9号 令和4肥料年度系統取扱推進要領の改定について
- 第10号 その他

JA住宅ローン 金利優遇キャンペーン

お取扱期間：令和4年10月1日～令和5年3月31日

固定変動金利選択型 団信込み

3年
固定金利

年0.80%

店頭基準金利3.08%

5年
固定金利

年0.85%

店頭基準金利3.28%

10年
固定金利

年0.90%

店頭基準金利3.38%

さらに！

借入当初3年間は
上記特約金利から

→ 年0.30%引き下げ

固定金利特約期間終了後
も店頭基準金利から

→ 年1.50%引き下げ

上記金利の適用条件について

下記①～③のいずれか1項目のお取引条件が満たされているお客様。新規ご契約も対象となります！

- ① 給与振込者（農業者は販売代金振込者）
- ② 公共料金自動支払（電気・電話・ガス・水道・N H K）を2項目以上利用
- ③ I B（インターネットバンキング）およびJAバンクアプリ契約者

- ローンのご利用にあたっては、保証機関の審査が必要です。審査の結果によってはお客様のご希望に添えない場合がございます。
- 保証料は別途一括前払いにてお支払いいただきます。
- お借入の際には、組合員加入の出資金をお願いしております。
- 9大疾病保障付団信を選択される場合、上記金利に年0.30%全期間上乗せとなります。
- 市場金利の動向によっては、お取扱い期間中でも上記金利を変更する場合がございます。
- すでに当JAでお借入いただいている住宅ローンには、ご利用いただけません。
- ご返済額の試算については、当JAの窓口までお問合せください。
- その他詳細につきましては、裏面をご覧ください。



J A 新得町

〒081-0011
新得町1条南3丁目1番地

TEL (0156) 64-5022

詳しくは、店頭までお気軽にご相談ください。



©よりぞう

〈〈〈 JA住宅ローン商品概要 〉〉〉

保証機関		北海道農業信用基金協会		
		一般型	100%応援型	
ご利用いただけ る方	年齢	貸付時：満20歳以上66歳未満、最終償還時：満80歳未満		
	年収	正組合員：150万円以上 准組合員：200万円以上	350万円以上	
	勤続	勤続（または営業）年数が3年以上の方 (公務員、高度な国家資格を有するもの1年以上)		
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・信用状況に不安のない方 ・団体信用生命共済への加入を認められた方 ・地域内に居住する個人または地区内に勤務する組合員 		
資金使途	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅新築・購入（中古住宅も含む） ・住宅リフォーム ・諸費用（住宅ローンにかかるもの保証料等） 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・土地の購入（5年以内に住宅取得） ・他金融機関の住宅ローンの借換 		-	
借入金額	10万円以上10,000万円以内			
	所要額の80%以内		所要額の100%以内 ※年収400万円未満の方は2,500万円以内	
返済比率	150万円以上250万円未満 30%	350万円以上400万円未満 25%		
	250万円以上550万円未満 35%	400万円以上600万円未満 30%		
	550万円以上 40%	600万円以上800万円未満 35%		
	800万円以上 40%			
借入期間	3年以上40年以内（1か月単位）			
	・借換は残存期間内		-	
お借入利率	<p>●固定変動選択型：3年固定0.8% 5年固定0.85% 10年固定0.90%</p> <p>固定期間終了後は変動金利となります。ご希望により3年、5年、10年の固定金利を設定できます。金利はその時の基準金利から1.5%マイナスした金利になります。</p> <p>下記①～③のいずれか1項目のお取引をいただく方に適用させていただきます。</p> <p>①給与振込者（農業者は販売代金振込者） ②公共料金自動支払（電気・電話・ガス・水道・N H K） ③IB(インターネットバンキング)およびJAバンクアプリの契約者</p>			
	<p>●変動金利：2.775%</p> <p>4月1日および10月1日の基準金利（住宅ローンプライムレート）により、年2回見直しを行い、6月・12月の約定返済日の翌日より適用利率を変更致します。</p>			
担保	融資対象物件および敷地一帯に第1順位の抵当権を設定させていただきます。 建物に対し火災共済（保険）付保			
保証料	保証料率：0.10%、0.20%		保証料率：0.13%、0.23%	
	一括前払			
返済方法	元利均等返済			
団信	団体信用生命共済にご加入いただきます。 ※一般団信の掛金はJAが全額負担 ※九大疾病保障付団信については年0.30%金利に上乗せとなります。			
	詳しくはJA窓口までお気軽にお問い合わせください。			



第7回

逆境時にこそ 問われる農協魂

(有)石田コンサルタントオフィス

代表取締役

石田邦雄



J A 新得町の組合員、そして職員、関係者の皆さん、明けましておめでとうございます。令和5年が皆さんにとり安寧な1年でありますよう心からお祈り申し上げます。とはいって、全世界をパンデミックへと追いやつたコロナ禍は未だ先が見えず、加えて昨年の2月に起こった

ロシアによるウクライナ侵攻の影響等もあり、物価高はもとより飼料の高騰など、農業者を取り巻く環境は一段と厳しさを増しています。そうした不透明な中での経営となり、頭の痛い日々が続いているのではないでしようか？そんな環境の中、昨年が農業協同組合法が公布され75年とか。当初は戦後復興への食料不足の中で、海のものとも山のものともわからない暗中模索におけるスタートだったろうと思います。当時の「産みの苦しみ」を味わった先人達の熱い想いを受け、一般的な呼称も「農協」から「JA」へと変え、右往左往し辛酸をなめながらの今日ではないでしょうか。その時期に迎えた新年です。これはもしかすると「これまでの歴史を振り返り、協同組合の初心にかえれ」という天の声かもしません。私が言うまでもなく、農協は「農業者による農業者のための組織」です。そして協同組合としての原則である「自主・自立」を起点に、一般的な会社とは違う形での「民主的運営」を基本に据え、「相互扶助の精神」のもと、組合員はもとよりJAの役員、職員としての求められる立場

は違ひながらも。その後における改正農協法では、従来からの「組合員及び会員のために最大の奉仕をする」に、「農業所得の増大に最大限の配慮をしなければならない」が加えられながら。すると「職員のための農協」ではないのは明明白白です。ちなみに職員はよく「組合員のパートナー」といわれます。私はその役割を勝手にこんな風にイメージしています。それはパラリンピックにも

みられたように、障がい者における長距離走における「伴走者」的なものではなかろうかと。先に走ると失格になり、そこに求められるのは安心感、言葉を変えると信頼感ともいえるかもしれません。それを感じることが出来なければランナーが走ることは難しいでしょう。それを農協に置き換えると、組合員と職員との関係性はどうでしょうか？伴走することに喜びを見出だし、その為にも常日頃から知識の習得を初め「自分磨き」は必須です。そういう考へると、こうして逆境におかれた時にこそ「その真価が試される」といえるでしょう。

そこで最近、私が強調する言葉を一つ。それは「1人の100歩」より「100人の1歩」を」です。同じ100歩であっても意味が大きく異なります。確か、会社組織であれば「1人の100歩」が重要で当たり前かもしませんが、協同組合という形態において大切なのは「100人の1歩」ではないでしょうか。農協法の公

布から「4分の3世紀」の時の流れを受け、その精神が風化をし、そうした経緯を知らない後継者の方々が多くを占め、協同組合に対する有り難みが失せ、一方で商系といわれる競合他社の進出などもあり、文字通り「JAが持つ意味」が問われています。そうするとまずは互いに持ちたいのは「働く価値観」です。「なんのための農業か？」「なんのために自分はJA職員に？」：その基本に一度、立ち返つてみる時なのかもしれません。その意味合いが濃ければ濃いほどに、逆境に強いあなたがおり、組織があると思います。

私の故郷、新得町。その基幹産業である農業に関わる皆さんには、まずはその誇りをとっています。今回は生意気に思われることも承知の上で、あえて傍目八目的視点でメッセージを送らせて頂きました。



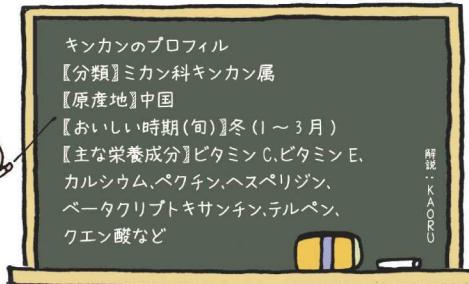
石田 邦雄 いしだくにお

1946年北海道新得町生まれ。(有)石田コンサルタントオフィス代表取締役、めでる研究室主宰。国鉄、会計事務所を経て中小企業診断士として独立開業。現在は社会保険労務士、シニア産業カウンセラーなどとして、組織改革や人材育成を軸に、人と企業のマッチングを目指す活動を開拓。これまで全国信用保証協会連合会や酪農ヘルパー全国協会を始め、北海道庁、北洋銀行、北海電工など多くの団体や企業で人づくりを支援し、中小企業大学校を初めJAカレッジなどで講師として携わる。体験学習等を交えた「教えるよりも考へる」「学ぶよりも気づく」が講義における基本スタイル。なお著書も多く「産業カウンセリング」や「豊かに働き、すてきに生きる」など多数。また現在、月刊誌「農家の友」や「ニューカントリー」に連載にてコラムを執筆している。

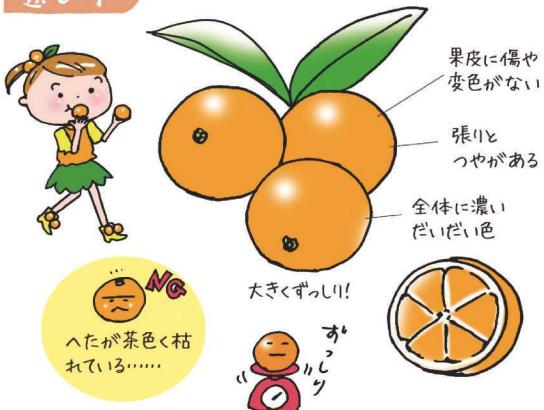
野菜ソムリエ上級プロ kAORUの フルーツ パラダイス



イラスト: 小林裕美子



選び方



楽しみ方・食べ方のコツ



キンカン

～皮ごと味わう小さなかんきつ～

保存方法

乾燥しないようにラップで包むか保存袋などに入れ、冷暗所または冷蔵庫の野菜室へ



日持ち



冷暗所の場合は1週間、冷蔵庫の野菜室で2週間程度



長期保存



砂糖漬け、甘露煮など

キンカンのチカラ

ビタミンC

免疫力向上、風邪予防、肌荒れ改善に



クエン酸
疲労回復や筋肉痛の軽減

ビタミンE

血行促進、冷え性改善、老化予防、生活習慣病予防



ビタミンE
皮ごと食べて、冬に摂取したいビタミンなどを効率的に摂取!



テルパン
植物に含まれる精油成分のリラックス効果や血圧の抑制に

カリシウム

骨や歯の強化、骨粗しょう症予防



カリシウム
骨や歯の強化、骨粗しょう症予防

カロテン

皮や果肉の袋に多い。

便秘改善に

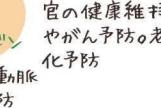
カロテン
皮や果肉の袋に多い。

便秘改善に

ペクチン

皮や果肉の袋に多い。

便秘改善に



ペクチン
皮や果肉の袋に多い。

便秘改善に

ペクチン
皮や果肉の袋に多い。

便秘改善に

ペクチン
皮や果肉の袋に多い。

便秘改善に

キンカンのいろいろ

ネイハキンカン(ニンポウキンカン・寧波金柑)

日本で主に栽培。皮が薄く食べやすい代表品種。宮崎県産「たまたま」などの中高級品種がある。



マルキンカン
マメキンカン(金豆)

ナガミキンカン(ナガキンカン)

日本で主に栽培。

「ぶちまる」「スウィートシャガー」など

ナガミキンカン(ナガキンカン)

日本で主に栽培。

「ぶちまる」「スウィートシャガー」など

新品種

キンカンのピミツ

名の由来

金色のかんきつであることからおせち料理「金冠」。暮らしがより豊かになると云ふ願いが込められている。

生業として

生業として

金橘(キンキツ)。古くからせき止めや喉の痛みを抑えるなど風邪症状の緩和に利用。

觀賞用

鉢植え、庭木など。中国の広東省、香港などでは、旧正月に飾る習慣もある。



J A 新得町 「しんとく」 Vol.290

■発行日 令和5年1月

■発行 新得町農業協同組合 <https://www.ja-shintoku.or.jp>

■編集 管理課農政企画係 TEL (0156) 64-5021



JA新得町